

# 衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 30. 4. 12 第 196 回国会第 3 号

4 月 12 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

- ・松山国務大臣（科学技術政策、宇宙政策、知的財産戦略及び情報通信技術（IT）政策担当）、越智内閣府副大臣、丹羽文部科学副大臣、小倉総務大臣政務官、今枝財務大臣政務官、新妻文部科学大臣政務官、田畑厚生労働大臣政務官、大沼厚生労働大臣政務官、大串経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 大岡敏孝君（自民）

- ・年金機構の個人情報の手入力による入力ミスについて、今後はOCRなど適切な機器の使用を検討するよう助言を行うべきであると考えているが、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・中小企業への補助金は、中小企業の成長のための事業であることから、収益分析など煩雑な事務処理を伴う収益納付は行うべきではないと考えているが、財務省及び中小企業庁の見解を伺いたい。

### 伊佐進一君（公明）

- ・若手研究者の研究資金確保のために、若手研究者の登竜門とされる科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業の「さきがけ」を充実させるべきであると考えているが文部科学省の見解を伺いたい。
- ・宇宙分野の研究開発人材は、ロケット開発などプロジェクトを経験することで成長する。若手研究開発人材の育成・維持の面から、プロジェクトを確保する必要があると考えているが、松山大臣の見解を伺いたい。

### 櫻井周君（立憲）

- ・技術を守り、我が国の産業競争力を強化するために、第一国出願制度及び秘密特許制度の導入を検討する必要があると考えているが特許庁の見解を伺いたい。
- ・弁護士は知的財産権の専門家である弁理士の業務を行うことができるが、弁護士であっても弁理士登録を受け実務修習と研修を受け、専門家として業務を行うべきであると考えているが法務省の見解を伺いたい。

### 吉田統彦君（立憲）

- ・理化学研究所等においてiPS細胞から作製した網膜色素上皮細胞移植による加齢黄斑変性治療の臨床研究

が行われており、当初のスケジュールから大幅に遅れ、情報公開が不十分であるが、今後の見通し等について文部科学省及び厚生労働省に伺いたい。

- ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）は日本版NIHとして設立されたが、自前の研究施設を持っていないなど問題があり、国内の組織との統合など再編が必要と考えるが、内閣府の見解を伺いたい。

### 稲富修二君（希望）

- ・人工知能（AI）については一般には明確な定義は存在しないとされているが、政府においてどのように定義しているか。また、今後の想定される市場規模及びビジョンについて松山大臣に伺いたい。
- ・地方行政サービスのイノベーションとして、AIの活用を進めることが、住民の利便性向上と将来の高齢化に伴う労働力不足への対応のカギとなると考えるが、総務省の見解を伺いたい。

### 城井崇君（希望）

- ・若手研究者の活躍促進のため、ポストドクターの出口としての常勤ポストを増やす必要があると考えているが、具体的な目標について松山大臣の見解を伺いたい。
- ・小型衛星の利活用の見通しについて、また、ものづくり技術の集積がある地域で小型衛星の量産化をすべきと考えるが、松山大臣の見解を伺いたい。

### 平野博文君（無会）

- ・政府はAIを明確に定義した上でAIの推進を図る必要があると考えているが、松山大臣の見解を伺いたい。
- ・昨今研究不正が問題となっているが、研究不正の定義及びその要因について文部科学省の見解を伺いたい。

## **畑野君枝君（共産）**

- ・過度な資金獲得競争を緩和するとともに、若手研究者が活躍できる場を確保するために、大学の基盤的経費である国立大学法人運営費交付金の増額が必要であると考えるが、松山大臣の見解を伺いたい。
- ・総合科学技術・イノベーション会議に設置されているイノベーション戦略調整会議の構成員に、防衛大臣を加えた理由について、松山大臣の見解を伺いたい。

## **井上英孝君（維新）**

- ・4機体制となった準天頂衛星システム「みちびき」のデータを活用した新サービス及び宇宙ベンチャーの支援強化に向けた取組について、内閣府に伺いたい。
- ・統合イノベーション戦略の策定に向けた、松山大臣の決意を伺いたい。